



イメージキャラクターが決定



今も子どもたちから大人気

▲第993号[平成16年3月1日発行]

市制施行50周年記念事業で誕生した鳥栖市イメージキャラクター『とっとちゃん』の紹介。2003(平成15)年4月から10月に市のイメージキャラクターを公募したところ、全国から307点の応募があり、優しさや愛らしさを持ち、幅広い年代に親しまれるイメージから選ばれました。

誕生から現在まで市内のさまざまなイベントなどに登場し、会場を和ませているとっとちゃんは、そのイメージ通りの活躍で、子どもたちからも大人気です。

▼第999号[平成16年6月1日発行]

市制施行50周年記念事業の一環で誕生した子どもたちによるミュージカル『鳥栖子どもミュージカル』(現在のキッズミュージカルTOSU)の初回公演。2004(平成16)年5月8日・9日の両日、市民文化会館で行われ、最年少の3歳児を含む124人が出演し、約2,800人の観客を魅了しました。

現在、ミュージカルやドラマなどでも活躍中の俳優・木下晴香さんも所属していた本格派のミュージカルで、市内のイベントなどにも出演し、盛り上げてくれています。



鳥栖プレミアム・アウトレット開業
3万5千人の来場者でにぎわう

▲第995号[平成16年4月1日発行]

2004(平成16)年3月12日に弥生が丘に開業した鳥栖プレミアム・アウトレットの様子。九州最大級のアウトレットモールを目当てに、初日は約3万5,000人が来場し、多くの買い物客でにぎわいました。

店舗数は現在、当初の94店舗から約170店舗まで増えており、開業20年での来場者数は累計で約9,500万人(開業日~2024年1月の延べ人数)。1億人突破も間近の、鳥栖の観光拠点です。

▶第1139号[平成23年4月1日発行]

市報とす2011(平成23)年4月号の表紙。同年3月12日の九州新幹線全線開通に伴い、鳥栖市の新たな交通拠点・新鳥栖駅が開業しました。前日に発生した東日本大震災を受けて、開業イベントは全て中止となりましたが、6時13分発の一番列車を見ようと早朝から多くの鉄道ファンらが駅を訪れ、新たなスタートの瞬間を写真に収めていました。



▶サガン鳥栖J1昇格記念号

[平成24年1月1日発行]

2011シーズンのJ2リーグで2位となり、2012シーズンから悲願のJ1昇格となったサガン鳥栖。その軌跡をまとめた記念号を平成24年1月号と一緒に発行しました。

また、久光製薬スプリングス(当時)が2012-13シーズンに史上初の五冠を達成。両チームの活躍に沸いた1年でした。



史上初!五冠達成凱旋パレード ▲第1167号[平成25年7月15日発行]

▼第1166号[平成25年6月15日発行]

2013(平成25)年6月1日に新鳥栖駅前に開院した、九州唯一の重粒子線がん治療施設『九州国際重粒子線がん治療センター』(愛称:サガハイマツ)の案内。放射線を用いた『切らずに治す』という



体にやさしい最先端のがん治療法で、同年8月27日から治療が開始され、2025(令和7)年2月末までに1万508人に重粒子線治療を行っています。

- '04(H16) 鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業が完了▼市イメージキャラクター『とっとちゃん』誕生▼鳥栖プレミアム・アウトレット開業▼鳥栖・三養基西部リサイクルプラザ、溶融資源化センター落成▼公式訪問団をドイツ・ツァイツ市へ派遣
- '05(H17) 佐賀・福岡で地震、鳥栖市は震度5弱を記録
- '06(H18) 勝尾城筑紫氏遺跡が国史跡に指定▼九州シンクロトン光研究センター開所▼鳥栖貨物ターミナル駅が開業▼グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖分譲開始
- '07(H19) 第六代市長に橋本康志氏▼鳥栖筑紫野有料道路が無料化▼市民活動センターを開設
- '08(H20) 九州新幹線・筑紫トンネル貫通
- '09(H21) 河内町の市滞在型農園施設と市地域休養施設を『とりごえ温泉 栖の宿』として新装開業
- '10(H22) 鳥栖駅前周辺整備が完了
- '11(H23) 九州新幹線・鹿児島ルート全線開通、新鳥栖駅開業▼サガン鳥栖がJ1昇格
- '12(H24) まちづくり推進センター開所▼ドイツ・ツァイツ市と『友好交流都市協定』を締結▼鳥栖市の人口が7万人を突破
- '13(H25) 九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)開院▼久光製薬スプリングス(現在のSAGA久光スプリングス)が5冠達成